

2年 道徳

主題名	すなおにのびのびと
中心内容項目	A 主として自分自身に関すること（正直，誠実） お月さまとコロ（わたしたちの道徳）
	平成27年 6月 23日 2校時
	児童 2年 1組 27名
	授業者 新川 里織

1 主題設定について

本時でとりあげる内容項目は、「うそをついたり、ごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。」である。

伸び伸びと明るい気持ちで毎日の生活を送りたいと考えているのは、誰もが同じである。しかし、してはいけないことをしてしまったり、自分の言動が思いがけない結果に結びついてしまったりして、自責の念や後悔にとらわれてしまうことも少なくない。そして、その時、うそをついたり、ごまかしたりすることによって、より一層心は暗く重くなってしまふ。そのような自分の心と向かい合い乗り越えていくためには、自分の非を認める正直さや、改めていこうとする素直さが大切である。

葛藤を乗り越えて、素直な心で接した時、心が晴れ晴れとすがすがしくなること、そしてさらにその明るい心が、次へのエネルギーとなることに気づかせたい。

2 他教科・他領域や日常指導などとの関連

グループ活動や遊びの中で対立した時、自分自身の言動を振り返り、自分の非に気がついたり、謝るべきことはないかを考えたりすることは、心を成長させるよい機会である。うそやごまかしで保身するのではなく、何がいけなかったのか、どうしたらよかったのか、これからどうしたらよいのかをしっかりと考え、次の行動につながるようにしていきたい。

3 児童の実態

省略

事前アンケート調査結果

これまでに謝りたくても謝れなかったことはありますか。	はい ~17人 いいえ~10人
それは誰に対してですか。	友達 父母 兄弟姉妹
その時、あなたはどう思いましたか。	謝れた~すっきり よかった 謝れなかった~どうしよう 嫌な気持ち

※わたしたちの道徳P43参照

4 資料分析

本資料はわがままな言動が原因で友達がいなくなってしまった、コロギのコロを主人公とする話である。コロは唯一の友達となったギロまでも、意地悪をして怒らせてしまう。謝らなくてはいけないと思いつつも、なかなかそうすることができないコロだが、お月さまとの関わりを通して、素直な気持ちで生活することで心が晴れることに気づき、ギロに謝ることにする。

コロの素直になれない様子に、多くの児童は共感し、実体験と結び付けて考えていくことができると予想される。また、資料後半でお月さまにうながされ、歌を歌うコロの心の変化を考えることによって、素直になることによって、心が明るくなることに気づくことができると考える。

素直にのびのびと生活することとは、うそをついたり、ごまかしたりせずに、正直に対応することであるということに気づかせてくれる資料である。

価値を自覚したのは誰	コロ
起きた出来事、助言は何	ギロは、「もう、きみとはあそばない。」と言って、おこって帰っていきました。
価値を自覚したところはどこ	コロの心は晴れ晴れとしてきました。

5 「自分の心と向き合う道徳」（かがや木道徳）

【思考の流れ】

価値への意識づけ

謝りたくても謝れない時どうしたらよいか考えさせる。



自分との対話

中心発問とまとめの場面で、書く活動を取り入れることにより自分の心と向き合う。



相手との対話

価値を深める補助発問の場面で、友達の考えを聞くことにより考えを交流させる。



価値に対する見取り

謝りたくても謝れない時どうしたらよいか考えることができたか。